

## 素形材産業経営賞募集に関する【よくある質問:FAQ】

	質問	回答
1	応募は自薦でしょうか、他薦でもよろしいでしょうか。	自薦、他薦いずれの応募も可能です。 但し他薦の場合は、 ①推薦者が、被推薦者(応募者)と予め内容を調整した上で応募すること、 ②推薦者は会社名・氏名・連絡先(電話番号及びメールアドレス)について、応募用紙の欄外又は応募時のメール本文に記載することを条件としています。
2	表彰の種類や件数は決まっていますか。	応募要領のとおり、表彰の種類は、経済産業大臣賞、中小企業庁長官賞、経済産業省製造産業局長賞及び素形材センター会長賞を予定しています。特に優秀と認められた場合に、経済産業大臣賞の授与を行うものとし、所定の水準に達しない場合は該当なしとなります。また、受賞件数は決まっていません。一定の評価が得られた応募が複数あった場合には、それぞれ表彰する予定です。
3	今年度限りの事業ですか、次年度以降も継続する事業ですか。	今年度限定ではなく、来年度以降も事業継続を予定しています。
4	表彰の対象となるモデルはありますか。	応募要領に掲げる「表彰の対象・内容」のモデルを例示します。  ○モデル1:ビジネスモデル(国内の生産性向上、海外事業の拡大) ・経営トップが率先して(又は従業員が発案して)、自社の強みと保有する技術から新たな価値の創出と成長を促進。国内で、DXによる生産技術を高め、従来からの強みである金型設計から、ニアネットシェイプを行うための仕上げ加工までの一貫生産体制を構築した。アジアをはじめとする海外成長市場への展開を拡大し、現地顧客対応を行うためのグローバル拠点を整備した。これにより、顧客満足と売上高増を実現させた。  ○モデル2:健康経営(従業員の満足度向上) ・経営トップを健康経営責任者として、健康経営推進委員会を設けて実行性を高める体制を構築した。社内の健康宣言を作成・発表するとともに、健康課題の設定、個人の健康目標設定等の枠組み作りも進め、活動を定着させる取組も行った。これにより、社内横断的な事業活動の円滑化、社員間のコミュニケーション活性化にもつながった。  ○モデル3:人材育成(若手などの成長促進) ・技能伝承による次代の人材育成のため、役員クラスと若手人材のチームを組成し、教育のためのカリキュラムやコンテンツを一緒になって作成した。また、ベテラン人材を講師として、定期的な社内勉強会を開催した。若手に分かりやすく伝えるため、動画を気軽に閲覧できるシステムや、受講実績の可視化で若手の成長実感を促す取組も行った。
5	素形材分野以外への新事業展開も募集対象になりますか。	事業者(同社)の素形材事業の発展に資する取組をご応募ください。
6	「代表者」と「連絡者」は、同一者でもよいのですか。	同じ方でも構いません。なお、連絡者は事務局より審査結果、或いは審査にあたってご依頼事項等のご連絡を指し上げる方をお願いします。
7	他機関で受賞している取組みであっても応募できますか。	応募できます。また、他の表彰制度へご応募されていても構いません(予定含む)。